

大災害からの復興と 持続的社会的モデルを目指して～ 半島地域からの問題提起

令和6年1月に発生した能登半島地震は、“半島”という地域社会に甚大な被害をもたらしました。この大災害を通して、地域の脆弱性や課題が浮き彫りとなり、今後の復興と持続可能な社会の構築に向けた新たな視点が求められています。本会議は、災害からの復興過程で明らかになった課題を共有した上でこれまでの取り組みを検証し、今後必要なことを探ることを目的としています。

Program

総合司会：松井 三枝（金沢大学国際基幹教育院 教授）

13:30~13:40 ■ 開会挨拶

光石 衛（日本学術会議会長）
和田 隆志（金沢大学長）
馳 浩（石川県知事）

13:40~13:50 ■ 趣旨説明

福森 義宏（金沢大学名誉教授）

13:50~15:45 I 学術講演

司会：中村 慎一（金沢大学理事（研究・社会共創・大学院支援担当）／副学長）

- ① 石川県における創造的復興に向けた取り組みについて
新田町 弘幸（石川県能登半島地震復旧・復興推進部長）
- ② 能登里山里海未来創造センターが見据える能登の復興と日本の未来
谷内江 昭宏（金沢大学理事（附属病院・同窓会・大学基金担当）／副学長、
能登里山里海未来創造センター長）
- ③ 北陸先端大学の産学連携活動と能登半島震災復興支援への取り組み
寺野 稔（北陸先端科学技術大学院大学長）
- ④ 能登半島地震・豪雨災害からの復興の空間計画的課題
姥浦 道生（東北大学災害科学国際研究所 教授）
- ⑤ 日本学術会議における活動報告と提言
一激甚化する複合災害と自助・共助・公助による備えー
久田 嘉章（日本学術会議連携会員・防災減災学術連携委員会委員、工学院大学建築学部
まちづくり学科 教授）

総合討論

休憩（15分）

16:00~17:30 II パネルディスカッション

能登未来を担う若手による能登復興への提言

モデレータ 佐無田 光（日本学術会議連携会員、金沢大学融合研究域 教授）

パネリスト 北澤 晋太郎（NPO 法人ガクソー 理事長）
小山 基（能登 DMC 合同会社 CMO）
新谷 健太（海浜あみだ湯 運営管理）
馬場 千遥（珠洲市特定地域づくり事業協同組合 事務局）
山口 敦子（有限会社山口水産 里山担当）
山下 祐介（のと栄能ファーム 代表）

17:30~17:35 ■ 閉会挨拶

高田 広章（日本学術会議第三部会員・中部地区会議代表幹事、
名古屋大学未来社会創造機構 教授）

Information

日時

令和7年 8月2日（土）
13:30 ~ 17:35

場所

金沢市アートホール

石川県金沢市本町2丁目15番1号 ポルテ金沢6F



・JR金沢駅兼六園口より徒歩2分

開催形式

ハイブリッド開催

- ・対面 …………… 先着250名
- ・オンライン ……… 先着500名

参加方法

7月30日（水）までに下記
URLまたは2次元コードから
お申し込みください。

定員になり次第、事前申込の受付は
終了します。

<https://ws.formzu.net/fgen/S12764568/>



お問い合わせ先

金沢大学研究推進部研究企画課
TEL：076-264-6198
E-mail：scj-isk@adm.kanazawa-u.ac.jp